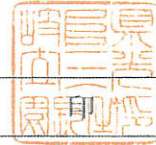


別記第2号様式（第3関係）

令和5年度 主目標・重点事業・チーム目標設定状況報告書



所属名	岐阜県立三光園	所属長名	小森 真哉
<p>主目標</p> <p>利用者の個性を尊重した個別支援計画の実施とともに、きめ細やかなサービス提供に努め利用者の満足度につなげる。また障がい者支援施設としての機能を地域に活かす。</p>			
<p>重点事業</p> <p>① 個別支援計画に基づいた適切な支援につながるよう、サービスの検証、修正、評価等を実施し、質の向上に努める。</p> <p>② 利用者の思いを大切に、ライフステージに応じたサービスを提供する。</p> <p>③ 利用者の重度・高齢化に対応できるよう介護技術や障がい特性等の研修を実施し、専門性の高いサービスを提供する。</p> <p>④ 福祉施設としての機能を活かし、地域の福祉ニーズに応える。</p>			
<p>チーム目標（①③④）</p> <p><u>経営グループ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の重度化・高齢化・虚弱化が顕著となり、日常の適切なケアとともに、早期発見・早期受診に努め、利用者の心身苦痛の軽減、入院日数の短期化・空床期間削減等に努め、利用率維持を図る。 ・施設の老朽化に伴い、設備・備品の破損・故障等が増えている。利用者支援を安全に実施し、かつ職員の支援が円滑に進むよう、随時、県や業者と相談・調整を行い、随時修繕に努める。 ・在宅サービス（短期入所・日中一時支援）については、感染対策を講じながら、利用者・家族のセーフティネットとなるよう、サービス提供に努める。また、各関係機関と連携を図り、利用率アップに努める。 ・面談やストレスチェックを通して、職員の心身状況・人間関係等を把握し、働きやすい職場環境の構築を目指す。また、職員の人材確保・人材育成の面からも重要であるため、内外部の社会資源を活用し必要なケアに努める。 			
<p>チーム目標（①②③）</p> <p><u>南フロアグループ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の障害特性やライフステージなどに応じた個別性のある支援を展開し、生きがいや将来への希望を持てるよう支援する。個別支援計画の作成時には、可能な限り利用者が参画し、希望等を丁寧に聞き取り、適切な意思決定ができるよう取り組む。 ・高齢者や行動障がいなど専門的な支援が必要な利用者については適宜ケース検討を行い、適切な支援の実施や職員の負担や悩みの軽減を図る。 ・研修等を通じて老人介護、行動障がい、LGBTQ+等の理解を促進し、多様性を尊重したサービスを提供する。 ・地域移行（施設移行）を望む利用者については、移行に向けた情報収集や見学等を行い、本人の気持ちに寄り添う。相談支援事業所や介護保険施設、医療機関など他機関や多職種と連携をしながら、本人に合った環境で望む生活を送れるよう支援する。 			
<p>チーム目標（①②③）</p> <p><u>北フロアグループ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個性を尊重し、利用者本人が個別支援計画を意欲的に取り組めるよう支援する。会議録や日誌の充実を図り、職員間で情報共有・連携し、統一した方向性を持った支援を実施する。 ・重度・高齢化に伴い医療との連携を密に図りながら、本人やご家族が望む生活が継続できるよう支援する。必要に応じ施設移行についての情報提供を行い、福祉施設としての役割を果たすよう努力する。 ・介護技術向上や福祉機器活用のための研修のほか、障がい特性の多様性について理解し、利用者・職員 			

とも安心・安全な生活や支援が提供できるようにする

- ・地域移行（施設移行）を望む利用者については、移行に向けた情報収集や見学等を行い、本人の気持ちに寄り添う。相談支援事業所や介護保険施設、医療機関など他機関や多職種と連携をしながら、本人に合った環境で望む生活を送れるよう支援する。

※チーム目標の（ ）内には、「重点事業の①」などと、関連する事業名を記載すること。